

2020年度青木ゼミ 説明会用スライド

アウトライン

- 基本情報
- ゼミでの勉強
 - 輪読
 - ブリーフィング
 - ブリーフィングの実例
- ゼミの雰囲気
 - 青木先生について
 - ゼミ生
- サブゼミ
- 行事
- 選考情報

基本情報

- 今年度で11代目のマクロ経済学のゼミ
- 時間割：毎週火曜4(~5)限
休憩を適宜挟みつつ、15時~18時過ぎ(たまにオーバーします)
- ゼミの目的
 - ① 中央銀行やIMFで実際に使われている
マクロ経済分析の枠組みと最新のマクロ理論を身につけ
 - ② それらを用いて各自の興味のある経済事象を分析する

ゼミでの勉強

① 輪読

- 教科書や論文を交代で担当して発表(セメスターに1回程度)
- 今年輪読で扱うテキスト
 - Sセメ : 青木先生と藤原先生の共著の中級マクロの教科書原稿
消費からRBC、金融政策まで幅広く学ぶ
駒場のマクロ2の発展版をイメージするといいかも？
 - Aセメ : ゼミ生の興味関心に応じて青木先生が選んだ教科書・論文

ゼミでの勉強

① 輪読(続き)

- 輪読の進行度に応じ、コンピューター実習や経済分析練習も行います
 - 数値計算や時系列分析のツールの習得
 - 学習した理論をもとに、先生が用意した題材で経済分析の練習
(昨年度の題材)
- 日本の低インフレ率の要因をフィリップス曲線から探る
- 経済白書の記述を消費理論に基づいて正しいか考える

ゼミでの勉強

① 輪読(続き)

- 去年のAセメで扱った題材
 - 経済成長論 Jones(2013) “Introduction to Economic Growth”
 - マクロプルーデンス 理論・実証に関する論文
- 過去に遡ると金融政策や銀行論について扱った年度も

② ブリーフィング

- 自分が疑問・興味を持った経済事象について自分なりにモデルや仮説を立てて分析&発表 (セメスターで本発表と追加発表を各1回)
 - テーマは自由
 - 理論分析でも実証分析でもok
- 発表後、関連テーマについてディスカッション
 - 直感的な解釈や分析をさらに発展させるアイデアなど

経済理論を実際の問題に当てはめる練習に！

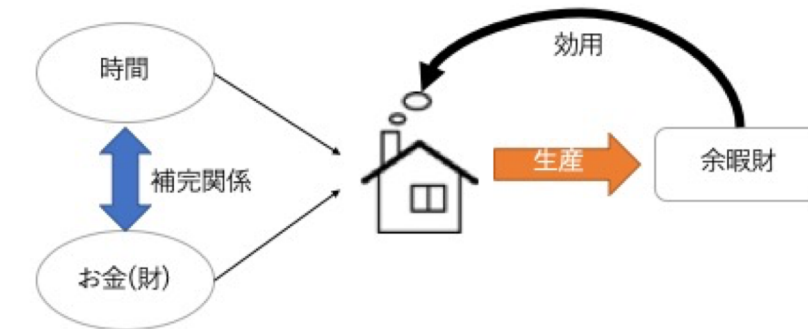
ゼミでの勉強 - ブリーフィングの実例

問題意識：近年、夫の収入が大きいとと妻の就業率が下がるという関係が弱まっているのはなぜか？

家庭内生産を組み込んだモデルで検証

Model

- Home Production Model: 家計は時間と商品を組み合わせて Commodity を作り、そこから効用を得る
"Households will be assumed to combine time and market goods to produce more basic commodities that directly enter their utility functions." (Becker, 1965)



10

Model

$$\blacksquare t_w = \frac{w^{\sigma} T - l}{w^{\sigma} + w}$$

$$\blacksquare \frac{\partial t_w}{\partial l} = -\frac{1}{w^{\sigma} + w} < 0$$

➤ (家庭外)労働時間曲線の傾き $\left(\frac{\partial t_w}{\partial l}\right)$ は、

妻の賃金(w)の増加関数(→傾きがゆるくなる)

○ 仮説1: 女性の賃金の増加

代替の弾力性(σ)の $\begin{cases} \text{増加関数} & w > 1 \text{ のとき} \\ \text{減少関数} & w < 1 \text{ のとき} \end{cases}$

? 仮説2: 家事の省力化・外部化の進展

18

ゼミでの勉強 - ブリーフィング

- テーマのは自由度は高い
 - 生産性の上昇にもかかわらず賃金が伸び悩んでいる現象をマクロ経済学のモデルから説明
 - ランナーズハイを個人の最適化行動 + 行動経済学から説明
- 自分が不思議だと思った事象を、自分なりにストーリーを立てて考察し、それを聞き手に伝える良い練習に
- 個別説明会(4月7日4限)では模擬ブリーフィングを行う予定です
- Twitterアカウント(@Aoki_shinkan)でも、昨年度のブリーフィングを紹介していく予定です

少しでも興味を持たれたら是非チェックしてみてください！

ゼミの雰囲気

青木先生について

- 東大の前には、イングランド銀行やLSE
現在は日銀調査統計局のアドバイザーも
- マクロ経済学のフロンティアを研究なさっている
マクロ以外の分野の造詣も深い
- 「直感的に考えるとどういうことか」を重視して明快に説明してくださります
- 非常に優しく面倒見の良い先生

鋭く、かつ温かいコメント

ゼミの雰囲気

ゼミ生について

- 2019年ゼミ生：男14名(7名)女5名(2名)
留学・休学中の学生も
- ダブゼミ先
松井ゼミ、下津ゼミ、澤田ゼミ、山口ゼミ etc.
- 卒業生の進路
日銀、官公庁、大学院、商社、外資系金融など様々

ゼミの雰囲気

ゼミ生について(続き)

- 真面目で和やかな学生が多い
- 有志でゼミ後に夕ご飯を食べに行きます
任意参加ですが比較的参加率は高かったと思います
- 縦横のつながりもいい感じ

行事

- 4月 新歓コンパ
- 8月 ソウルインゼミ
- 10月 経友会主催フットサル大会
- 12月 OBOG会
ゼミ合宿
- 1月 慶應藤原インゼミ
- 3月 追いコン

行事

ゼミ合宿

- 1泊2日で11~12月ごろに。昨年度は湯河原
- (1日目)4年生による卒論発表
(2日目)経済分析演習⇒観光



OBOG会

- ゼミのOB・OGの方が一堂に会し、交流できる貴重な機会でした

(官公庁や日銀、院進された方の多さには驚きました)

- 12月というお忙しい中ながらも
たくさんの先輩に出席して頂きました



その他のイベント

- 青木ゼミOBOGの大学院生や社会人の方がしばしば参加することも
(MIT博士課程に留学中のOBの先輩にゼミにお越しいただいたときの写真です)
- 青木先生と親交のある内閣府や日銀の方が講演をしてくださる機会も



こんな人におすすめ

- マクロ経済学をしっかりと学びたい人
- 院進する人、ダブゼミする人も例年多く勉強しやすい環境です
- 駒場マクロで苦手意識を持たれた方でも大歓迎です
(先生の丁寧なフォローがあるのでやる気があれば大丈夫です！)
- 勉強と勉強以外をバランスよく両立したい人
- 青木先生の人柄に惹かれた人！
(是非個別説明会に参加して体感してください)

これらはあくまで新歓担当個人の意見・感想なので、個別説明会でゼミ生と話してみてください！

選考概要&スケジュール(予定)

- 10名程度の募集
倍率は1~1.5倍程度
- 2次募集も必ずあり！ **ダブゼミも大歓迎です！！**
- **個別説明会：4/7(火)4限に演習室515で開催予定**
- 1次募集：4/3(金)~4/10(金)
- 2次募集：4月中旬

提出書類

- 提出場所 経済学部棟5F教務課ポスト
- 提出期限 1次募集→4/10(金)17時まで
2次募集→確定し次第告知します
- 教務課指定の書類＋成績表＋2000～3000字程度のエッセイ
 - 興味を持っている経済問題
 - 今までに読んだ書物や受けた講義で印象に残ったこと
 - 卒業後の目標などをまとめたエッセイ
- 先生との20分程度の面談(面談の日時の決定方法は後日追記します)

選考プロセス

- 選考情報について確定・変更等がある際には基本的にTwitter(@Aoki_shinkan)で告知する予定です
- 今年度は各種イベントがオンラインに変更となる可能性がありますので、ご注意ください
- 不明な点等があれば、質問箱やDMで気軽に話しかけてください！

皆さんとゼミで会える日をお待ちしております！

青木ゼミ選考情報(暫定版)

申込方法

選考プロセス(一次二次共通)|

書類提出⇒青木先生との面談(約20分)*1

提出先 | 経済学部5F教務課ポスト

提出期間 |

一次募集 : 4月10日(火)17時まで

二次募集 : 必ずあり*2

提出書類 | ①教務課指定の書類

②成績表 ③課題エッセイ

募集人数 | 10名程度

*1 応募書類提出後、青木先生の部屋(経済学部棟13F1303)のドアに貼ってある予定表に希望日時を記入

*2 詳細な日時は未定。掲示板やTwitterを通じて連絡

*3 オンライン開催の可能性あり

*4 選考終了後の手続きは、掲示板やTwitterを通じて連絡

今後のスケジュール

4月7日(火)4限

個別説明会@演習室515 *3

・ 青木先生のお話

・ 模擬ブリーフィング

4月10日(金) 一次募集締め切り

4月中旬 二次募集締め切り

4月28日(火) 初回ゼミ*4

課題詳細

□ 興味を持っている経済問題

□ 今までに読んだ書物や受けた講義で印象に残ったこと

□ 卒業後の目標

などを2000~3000字程度にまとめたエッセイ